

三輪 一登さん（45期 成蹊大学 経済学部 経済経営学科）

高校時代は部活動に活発に取り組んでいました。そこで、毎回の授業で特に重要な内容については、その時間内で覚えるように心掛けていました。ヤマ高は部活が活発で、それを理由に勉強に割く時間を作れない人もいた印象です。しかし、少ない時間でメリハリをつけて勉強する力を身につけた人は、大学の勉強も捗ると思います。

大学生活はそれ以前の生活と異なり、自由時間が大幅に増えます。テスト期間等もないため、自ら遊びと勉強のメリハリをつけられる人が力をつけていきます。ヤマ高で文武両道を達成できれば、それより先の進路でも通用することを大学4年生になった今、実感しています。

就職活動も満足いくものとなり、社会人になっても高校時代の経験が生かせると考えています。

小俣 陽崇さん（46期 中央大学 文学部 人文社会学科 東洋史学専攻）

私は在学中、勉強・部活の両立のために日々の授業をしっかり受けることを最優先に取り組みました。そのおかげで、勉強・部活の両方に集中することができ、どちらも計画的に取り組むことができました。東大和高校は運動部・文化部ともに部活動が盛んで、みんなそれぞれの目標を持っていたので、在学中は周りの仲間との関わり合いが自分自身の成長へ繋がったと感じています。

私は現在大学で教員を目指すための学習を進めていますが、高校での経験を生かし、現在も授業はしっかりと受けて課題などを計画的に進めることや、目標設定を明確にして、そのためにできることを率先して行うようにしています。

間違いなく東大和高校の3年間は私にとって非常に充実したものであり、それは今でも役立っていると感じます。

A・Mさん（46期 都留文科大学 教養学部 学校教育学科）

私は東大和で部活漬けの3年間を過ごしました。苦しいことや大変なこともありました。が、チームやクラスや学年の仲間と切磋琢磨しながら乗り越え、楽しい3年間でした。

高校生活で多くの人が苦勞するのは部活と勉強の両立だと思います。部活後家に帰ると疲れて寝てしまうこともありました。でも毎日の授業を大切にすることで両立できていたと思います。東大和高校は部活はもちろん、行事に勉強に、みんな全力です。高校生にしかできない充実した経験ができました。

私は現在大学で教育学を学んでいて、高校時代を振り返る機会がよくあります。他の学生の話の聞くと、私の高校生活はとても豊かで、自慢できる時間を過ごせたのだと思います。こういった充実した環境で学んだことやその経験は、教育について考える今大いに生きています。

山上 凱さん（47期 東京消防庁 消防士）

皆さんこんにちは。東大和高校47期生の山上凱です。現在は東京消防庁で消防士として働いています。

突然ですが、私は東大和高校が大好きです。卒業してから1年以上が経った今でも、東大和高校で過ごした3年間は振り返ると、とても充実していたと思います。その理由は、東大和高校には部活や勉強はもちろん、行事においても手を抜かない、全力で取り組むといった雰囲気や伝統としてあるからです。

何事にも手を抜かずに、仲間と共に全力で取り組むことで、夢や目標に近づくことができる。私は東大和高校でこの大切なことを学び、今も都民のために、全力で訓練などに取り組んでいます。これから皆さんが東大和高校で何事にも全力で取り組み、活躍することを期待しています。

井上 莉里加さん（47期 国士舘大学 体育学部 子どもスポーツ教育学科）

私は高校卒業後、国士舘大学体育学部子どもスポーツ教育学科に進学し、小学校の教員を目指しながら所属している陸上競技部で日々練習に励んでいます。

私が中学生の頃に数ある高校の中から東大和高校を選んだ理由は、部活が盛んな東大和高校の陸上部で活躍したいという想いからでした。3年間部活動を本気で取り組み、失敗や葛藤を繰り返しながら自分自身が大きく成長できたと感じています。高校では自分で考え選択する場面が多くありました。こういった経験はやりたいことを追求していく上で必要であり、大学生活で役立っています。

この学校には、部活動だけではなく、進路選択にも全力でサポートしてくれる先生方がいます。人生でとても貴重な3年間、素晴らしい時間になることを願っています。

安部 裕貴さん（48期 青山学院大学 理工学部 化学・生命科学科）

私は3年間、サッカー部に所属していました。とても活発に活動していたため部活と勉強の両立は大変でした。部活動で忙しかったので、塾に入っていませんでした。しかし、時間を見つけて勉強したり、授業中に理解しようと集中して授業を受けたりして、定期テストでは上位を取り続けることができました。私はヤマ高での部活と勉強の両立は可能だと思います。

ヤマ高を選んで良かったことは、二つあります。一つは、生徒がみんな活発で明るかったことです。体育大会や文化祭などの行事の時には、全力で取り組み、全力で楽しんでいて、充実した学校生活を送ることができました。もう一つは、部活動でさまざまな経験ができたことです。試合に出ることができなかつた悔しさや辛い練習、それらを乗り越え、仲間と共に強豪校に勝った時の感動は、ヤマ高の部活動ならではのいい経験だったと思います。

ヤマ高では、諦めないことの大切さを学びました。学んだことを生かし、大学では授業や実験を頑張っています。